

令和 8 年度 学校経営計画書

学校番号	17	学校名	静岡県立裾野高等学校	校長名	鎌田 正幸
------	----	-----	------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

個性や興味・関心、進路希望に応じた科目を生徒自ら選択し学ぶことができるという総合学科の「強み」を活かすことを通して、様々な挑戦を通じて自身と周囲の変化を促し、学びの成果を地域等に広く還元することのできる人材（人財）の育成を目指します。

2 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー（卒業までに育てたい資質・能力）

学力の三要素	育てたい資質・能力	育てたい資質・能力の具体
学びに向かう力・人間性	自己肯定力	自分の良さや強みを認識するとともに、課題を受け止め、改善することができる。
	挑戦・継続力	困難な課題にも粘り強く向き合い、最後までやり遂げることができる。
	協調性・社会性	周囲との調和を図りながら対話を通して考えを深め、より良い結論を共に導き出すことができる。
思考力・判断力・表現力	論理的・批判的思考力	情報の根拠や妥当性を吟味し、筋道を立てて考え、適切に判断することができる。
	課題設定・解決力	自ら課題を見つけて目標を設定し、達成に向けたプロセスを主体的に計画し、実行することができる。
	発信力	自分の考えをわかりやすく言語化し、相手や状況に応じて効果的に伝えることができる。
知識・技能	確かな基礎知識とそれを活用する力	複雑な社会を生き抜くための基礎知識を持ち、それを課題解決のために活用することができる。
	社会人基礎力	社会人として必要な常識、マナー、言葉遣い等のスキルを身につけ、適切に活用することができる。

(2) カリキュラム・ポリシー（「グラデュエーション・ポリシー」実現のための教育課程編成の方針）

教育課程編成の方針	教育課程編成の方針の具体
総合学科の「強み」を活かします。	個性や興味・関心、進路希望に応じた科目を生徒自ら選択し学ぶことができるよう5つの系列（人文国際・自然科学・ビジネス・福祉介護・保育）を設置し、多様な教科・科目を用意します。
「キャリア教育」を充実させます。	広い視野と高い志で自らの将来を設計することができる「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」等での学びを充実させます。
「地域課題の解決」に挑戦します。	地域課題の解決に必要なスキルを身につけ、実際に解決に向けた挑戦ができるよう、裾野市役所や地域の企業等との協働学習を充実させます。

(3) アドミッション・ポリシー（本校が求める生徒像）

本校が求める生徒像	本校が求める生徒像の具体
「基本的生活習慣」が確立している生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なルールやマナーを守ることができる生徒 ・挨拶ができる等、他者とながら、尊重することができる生徒
変化をおそれず、挑戦しようとする生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・変化（change）を前向きな契機（chance）と捉えようとする生徒 ・失敗をおそれずに勇気をもって挑戦（challenge）しようとする生徒
地域を思い、地域の課題解決に取り組もうとする生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に生きる者として地域の未来を思うことができる生徒 ・地域課題を見つけ出し、その解決の方法を考え、行動しようとする生徒

様式第 1 号

3 スクール・ポリシーの具現化の柱

ア	自分の良さや強みを認識するとともに、課題を受け止め、改善する力を育てます。
イ	困難な課題にも粘り強く向き合い、最後までやり遂げる力を育てます。
ウ	周囲との調和を図りながら対話を通して考えを深め、より良い結論を共に導く力を育てます。
エ	情報の根拠や妥当性を吟味し、筋道を立てて考え、適切に判断する力を育てます。
オ	自ら課題を見つけて目標を設定し、達成に向けたプロセスを主体的に計画し、実行する力を育てます。
カ	自分の考えをわかりやすく言語化し、相手や状況に応じて効果的に伝える力を育てます。
キ	複雑な社会を生き抜くための基礎知識を持ち、それを課題解決のために活用する力を育てます。
ク	社会人として必要な常識、マナー、言葉遣い等のスキルを身につけ、適切に活用する力を育てます。
ケ	生徒を支える教職員が健康に働くことができるよう業務改善を進めます。

4 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果（達成）目標	担当部署
ア	自分の良さや強みを認識するとともに、課題を受け止め、改善する力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や行事等で「振り返り」を実施し、生徒が自らの成長を実感できる機会を設定する。 ・出欠状況の丁寧な把握や定期的な面談を通して、生徒の良さや強み、課題に気づかせるとともに、生徒が納得できる方向性を共に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「裾野高校に入学してよかった」と答える生徒及び保護者 100% ・「私は自己肯定感が高い」と答える生徒 80%以上 ・「生徒の良いところを見つけ、ほめたり価値づけたりしている」と答える教職員 100% 	総務課等 全職員
イ	困難な課題にも粘り強く向き合い、最後までやり遂げる力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が課題や気持ちを整理したり、改善への道筋を考えたりする機会を設定する。 ・授業の課題にしっかり取り組ませたり、清掃活動を大切にしたりして、責任及び役割を日常的に果たせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談実施年 3 回以上 ・「本校の生徒は自分を伸ばそうと努力している」と答える教職員 100% ・「予習・復習・課題など家庭学習をよくやっている」答える生徒及び保護者 50%以上 ・「清掃により校内美化が保たれている」と答える生徒 70%以上 	教務研修課等 全職員
ウ	周囲との調和を図りながら対話を通して考えを深め、より良い結論を共に導く力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・五龍祭（文化の部）や修学旅行等の学校行事において、生徒自らが企画、運営する機会を設定する。 ・教科の授業や「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」等において、他者と協働して考え、学ぶ機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校行事は自分にとって充実したものになっている」「委員会活動が活発である」「生徒会活動は行事等の成功につながっている」と答える生徒 90%以上 ・「主体的・対話的で深い学びに取り組んだ」教職員 100% 	総キャリ等 全職員

様式第 1 号

エ	<p>情報の根拠や妥当性を吟味し、筋道を立てて考え、適切に判断する力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業で情報の吟味や取り扱いに必要なスキルを身につけさせるとともに、情報を適切に活用した発表（プレゼンテーション）を行う機会を設定する。 ・進路面談等を通して、進路選択に必要な情報の根拠や妥当性を確認しながら、生徒自らが目標を設定し、計画を立てて行動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報を適切に収集、理解し、それらを有効に活用する力がついた」と答える生徒 80%以上 ・「情報リテラシー教育や情報を適切に活用した生徒による発表を実施した」教職員 100% ・「進路決定に向けた指導が充実している」と答える生徒および保護者 90%以上 	<p>進路課等 全職員</p>
オ	<p>自ら課題を見つけて目標を設定し、達成に向けたプロセスを主体的に計画し、実行する力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び未来 PASS」や面談等を活用して、生徒の学習面や生活面における課題を明確にさせるとともに、その改善に必要なプロセスを共に考え、取り組みを支援する。 ・定期テストや各種検定等の目標、その達成のために必要な方法及び計画を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「「学び未来 PASS」や面談等で学習面や生活面での自分の課題がわかった」と答える生徒 80%以上 ・「自分の課題の解決や目標の達成のための方法を考え、計画的に取り組んだ」と答える生徒 80%以上 ・「生徒が課題や目標を考え、その改善、達成のための方法や計画を考える機会を設定した」教職員 100% 	<p>総キャリア等 全職員</p>
カ	<p>自分の考えをわかりやすく言語化し、相手や状況に応じて効果的に伝える力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「考えを述べても大丈夫」という心理的安全性を確保するとともに、授業におけるワークシートの活用、「振り返り」やグループ学習の実施等、自分の考えを言語化する機会を設定する。 ・「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」における地域や企業等の「伴走者」の方々への発表や、進路実現のための面接指導等、相手や状況に応じた言語化や発表が必要な機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「できないことやわからないことを言いやすい雰囲気がある」と答える生徒 80%以上 ・「自分の思いや考えを他者に伝える力がついた」と答える生徒 80%以上 ・「生徒が自らの思いや考えを言語化し、発表する機会を設定した」教職員 100% 	<p>教務研修課等 全職員</p>

様式第 1 号

キ	<p>複雑な社会を生き抜くための基礎知識を持ち、それを課題解決のために活用する力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や方法等を工夫して、複雑な社会を生き抜くための基礎知識を生徒が得られる授業を展開する。 ・朝読書や、「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」をはじめとする各授業への積極的な外部人材の活用といった本校の特色ある取組をさらに積極的に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「教科の授業はわかりやすい」と答える生徒 90%以上 ・「朝読書はよい効果があると思う」と答える生徒 80%以上 ・「「産業社会と人間」・「総合的な探究の時間」が自己のためになっている」と答える生徒 80%以上 ・外部人材の活用 150 件以上 	<p>総キャリア等 全職員</p>
ク	<p>社会人として必要な常識、マナー、言葉遣い等のスキルを身につけ、適切に活用する力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な服装や言葉遣い、挨拶等に関する指導を粘り強く、継続して実施する。 ・生徒の課題や「困り感」を教職員で共有するとともに、協働して指導・支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「基本的な生活習慣を身につけるように適切な指導を行っている」「挨拶をしっかりと行っている」「きちんと制服を着こなしている」と答える生徒及び保護者 90%以上 ・「不快になるようなことを言われた」「SNS で不快なことをされた」と答える生徒 0% 	<p>生徒課等 全職員</p>
ケ	<p>生徒を支える教職員が健康に働くことができるよう業務改善を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・週 1 日の「定時退勤日」を設定するとともに、年次有給休暇や夏季休暇の取得を促進する。 ・ICT の活用等による業務の効率化や「風通しの良い」同僚性の構築等により、働きやすさと働きがいと両立する職場環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「定時退勤日」の「時間外在校等時間」60 分以内 ・ひと月当たりの「時間外在校等時間」が 30 時間以内の教職員 80%以上 ・夏季休暇を完全取得した教職員 100% ・一人当たりの年次有給休暇取得日数 16 日以上 ・「働きやすく、働きがいがある職場である」と答える教職員 100% 	<p>管理職 全職員</p>

※以上のアからケの成果目標を達成することを通して、入学者選抜において募集倍率 1.00 倍以上を達成する。
(管理職・全教職員)